

# 松 風

## 福島県公立学校退職校長会

会長あいさつ..... 1  
 評議員会報告..... 2  
 論壇、令和8年度活動の重点事項..... 3  
 令和8年度役員名簿、研修会、理事会報告... 4

〒960-8107 福島市浜田町4-16 富士ビル2階  
 TEL (024) 534-5411  
 FAX (024) 531-1195

### 会長あいさつ

### 諸活動のさらなる充実と

### 会員増を期して



福島県公立学校退職校長会

会長 福 士 寛 樹

新緑の美しい季節を迎えました。皆様には、本会の運営に特段のご理解とご支援を賜っておりますこと厚く御礼申し上げます。先日、評議員会を開催し提出議案・報告事項すべてをご承認いただきました。また、北会津支部と石川支部、福島支部総会に出席させていただきました、多くのご来賓のご臨席、会員の皆様の出席のもと総会が盛大に開催されましたこと、そして懇親会で会員の皆様と懇談でき大変有意義なひとときを過ごせましたことを大変嬉しく思います。今後とも支部総会の様子を拝見させていただき、今後の活動の指針に生かしてまいります。

さて、本会の課題や活動についてですが、学校数の減少、定年の延長、価値の

多様化などにより入会者が年々低下し、入会率は五十%を割り込みました。県事務局では、入会率アップ重点期間を設け入会率八十%を目指します。

次に、入会者の減少による会費納入の減少、諸物価高騰等により、郵券代や配送料、事務局経費等を節減するためLINE登録を推進し、会議等の諸連絡等についてはLINEを活用したいと考えています。また、会報「松風」は、東北地区退職校長会協議会の担当県として「東北情報」を発行するため、令和八年度も年間三回の発行とし、その配付時期を評議員会、県大会、支部長会開催時に直接お渡しします。同様に賀寿・寿詞のお祝い筒のお渡しも次年度の評議員会時とします。

会費を値上げすることなく、活動の質を落とさず経費節減に努めてまいります。県大会につきましては、

昨年の南会津町「御蔵入交流館」において開催しました会津大会は、今後の試金石となる素晴らしい大会でした。今年度は白河市「シン鹿島」で開催します。皆様のご参加をお待ち申し上げます。今後は、各支部の負担を平準化し、現状を維持しながら支部の実情を活かした開催ができるよう実施してまいります。要望活動は小中学校、高等学校との懇談だけでなく、教育長会とも連携し、より具体的な喫緊の課題への要望に変えていきます。

現在、東北地区退職校長会協議会会長、全国連合退職校長会副会長を拝命しております。全連退も昨年創立六十周年を迎え、祝賀会が盛大に開催され前会長の佐藤俊市郎先生が功労者として表彰されました。一方、入会率や会員数の減少、役員等のなり手不足は全国的な問題で、昨年度中に山口県と沖縄県が、そして青森県までが全連退を退会しま

した。先日全連退にも危機感をもって改革を断行するよう寄稿したところですが、本県においてもこれらの課題を皆様と共有し、より魅力ある存在価値の高いそして盤石な基盤をもった持続可能な団体にしていく必要があります。そのために、県内十六支部活動の充実はもとより、学校や教育行政の応援団として社会に貢献できる活動を組織的に推進してまいります。先日、文部科学省の堀野教育基盤審議官に本県及び東北の現状と課題、特に本県の復興予算の継続と教育予算の拡大等について強く要望してまいりました。今後とも皆様からのご意見や現役の校長先生、教育長会等からの要望を吟味し直接お届けしたいと思っております。

結びに、会員の皆様とこれまで以上に連携し、本会の充実・発展のため事務局一同努力してまいります。引き続き、皆様のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、さらなるご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。あいさつといたします。

# 令和八年度 評議員会報告

- 第六十回県大会西白河大会は六月九日(火)開催
- 今後の県大会の在り方について平成九年度までに検討(平成十年度から新しいローテーションで実施)

令和八年四月二十四日(金)、福島市吾妻学習センターにおいて令和八年度評議員会を開催した。なお、会に先立ち、研修会として福島県文化スポーツ局スポーツ課長様より「福島県スポーツ推進計画について」という題で講話をいただいた。

## 一 会長あいさつ

## 二 報告事項

- 令和七年度事業報告
- 令和七年度会計決算報告
- 一般会計、特別会計、ぬくもり基金
- 監査報告
- (決算報告、ぬくもり基金は本頁を参照)
- 慶弔関係
- 令和七年度高齢者叙勲三十九名(前年度比六名増)
- 令和七年度物故会員百十五名(前年度比二十三名増)



評議員会の様子

## 三 協議

協議の上、下記の項目は

- 新入会員加入勧誘予定者数
- 小学校六十二名・中学校四十三名・高等学校十一名・特別支援学校三名、計百十九名(前年度比七名減)
- 新入会員の勧誘並びに事務手続きの確認

原案のとおり承認された。

- 令和八年度活動の重点目標(案)
- (重点目標は三頁参照)

- 福島県公立学校退職校長会運営ビジョン(案)
- 福島県公立学校退職校長会デジタル化(DX)ビジョン(案)
- 社会貢献活動推進概念図
- 令和八年度事業計画(案)
- 令和八年度予算編成の方針(案)、会計予算(案)(予算は本頁左)
- 第六十回福島県公立学校退職校長会西白河大会(案)
- 「大会宣言」「県大会及び

体験発表支部

- 今後の県大会の在り方

- 県大会は毎年開催
- 各支部の負担を平準化し、新しいローテーションで令和九年度までに検討
- 令和八年度要望活動(案)
- 令和八年度教育懇談会開催要項(案)
- 役員改選は無し
- 四 事務連絡
- 令和八年度「寿詞・賀寿・賀詞」該当会員名簿、令和八年度高齢者叙勲該当者名簿、令和九年度「寿詞・賀寿・賀詞」該当者調査
- 令和八年度「支部事務の

手引き

○ 会員名簿の作成及び配付方法

○ 福島県公立学校退職校長会ホームページ

### 令和7年度会計決算報告

収入総額	3,716,532円
内訳	
● 会費	3,409,700円
● 雑収入	141,183円
● 繰越金	165,649円
支出総額	3,600,445円
内訳	
● 会議費	441,783円
● 事務費	419,451円
● 事業費	1,701,536円
● 会費・負担金	916,640円
● 積立金	120,000円
● 予備費	1,035円
差引残額	116,087円

※差引残額は次年度への繰越金とする。

### 令和8年度会計予算書

収入総額	3,580,087円
内訳	
● 会費	3,324,000円
● 雑収入	140,000円
● 繰越金	116,087円
支出総額	3,580,087円
内訳	
● 会議費	461,000円
● 事務費	433,000円
● 事業費	1,639,000円
● 会費・負担金	902,000円
● 積立金	120,000円
● 予備費	25,087円
差引残額	0円

### 令和7年度ぬくもり基金決算報告

収入総額	616,191円
内訳	
● 繰越金	615,216円
● 利子	975円
支出総額	120,000円
● 西白河大会助成金	60,000円
● 緊縮予算補填(一般会計へ)	60,000円
差引残額	496,191円

この頃、年齢のせいか、小学生から大学生になるまでにお世話になった先生方を、ふとした折に思い出し、懐かしむことが多くなってきた。

小学校五年生の担任・O先生。ほぼ毎日、授業の一時間目には、人間としての生き方に触れる話を情熱をこめて語ってくれた。その影響もあってか、学級の子どもたちは皆、先生を慕い、

「先生の家に行ってみよう」という声があがった。ある日曜日、先生の引率で高子沼へ遠足に行き、その後先生のお宅でアイスをこちそうになったことを今でもよく覚えている。

中学校一年生の担任・S先生。英語の先生で、私の兄弟は皆、一度は英語を教えていただいた。厳しさの中にも愛情があり、生徒から信頼され、慕われていた。当時、漢字の書き取り大会があり、

毎日ノート四ページが課題として出されていた。やっ

てこなかった数人の生徒が厳しく指導を受けていた姿を思い出す。「ならぬものはならぬ」という厳しさが印象に残っている。

高校三年生の化学担当・Y先生。進学校にもかかわらず、ニトロベンゼンの合成や合成染料による染色実験など、受験前の十月から十二月にかけて四人一組の

のはいつも深夜二時ごろだったことを懐かしく思い出す。

ご指導を受けた先生方には、感謝の気持ちでいっぱいである。私が教師を目指したことのすべてが、これらの出会いにつながっているように思う。

これから教員を目指す皆さんにとって、教員という仕事は、子どもたちの成長を支える尊い役割

# 思い出の先生方

副会長 坂 爪 靖 夫



班で何度か生徒による実験を企画してくれた。これらの体験のちに自分の進路に大きく影響を与えたと実感している。

大学四年生のゼミ担当・K教授夫妻。いつもニコニコと優しいご夫妻であった。毎週土曜日の夜には、学生たちが大勢先生宅に押しかけ、奥様の手料理をごちそうになり、その後は教授と夜中まで麻雀に興じ、帰る

る子どもたちの小さな変化や笑顔は、何にも代えがたい喜びとなる。自分を支えてくれた先生方のように、子どもたちの未来に寄り添う存在になってほしい。困難に直面しても、情熱と誠実さを忘れず、一歩ずつ前へ進んでください。あなたの思いは必ず子どもたちに届きます。

## 令和八年度 活動の重点目標

### 一 目 標

創立六十二年目を迎え、これまで先人が築き上げてきた歴史と伝統を継承するとともに、本会のさらなる発展と飛躍を目指し、諸課題の解決に努め、未加入会員への一層の勧誘促進、会員相互の交流、会員同士の触れ合いや支え合いを一層深め、生活の向上に努める。また、感染症等の防止を徹底し、ふくしまの復興・創生と未来を担う子どもたちの教育環境のさらなる充実、学校支援に努めるとともに、地域における社会貢献等に資する活動の充実を図る。

### 二 重点目標

- 本会が抱える諸課題の解決に向けた活動を強化する。
- 役職定年者と未加入会員への一層の勧誘促進と高齢化への対応
- 「双葉の灯を消さない」よう、被災・避難された支部・会員への支援活動を継続し、東日本大震災及び東京電力福島第一原
- 学校・現役校長・教育委員会等に対する協力
- 社会貢献活動等の奨励と活動機会の拡充
- デジタル化(DX)の一層の推進と、広報誌「松風」・ホームページの充実
- 生活の安定と各種制度の充実を図るための関係団体との連携
- 県小・中校長会及び高等学校長協会、県教育委員会からの要望などに応えるとともに、支部間の連絡調整を強化し、要望活動のさらなる充実を図る。
- 学校支援事業、地域学校協働活動など、教育振興のための社会貢献活動の充実を図るとともに、県教育委員会・福島大学等との連携により児童・生徒の健やかな成長に寄り添う教員としての魅力発信を継続する。

令和8年度 福島県公立学校退職校長会役員名簿

(令和8年4月24日現在) (敬称略)

Table with columns for roles (顧問, 会長, 副会長, 監事, 評議員) and names of members. Includes sub-sections for '評議員' and '理事' (常任理事, 非常任理事).

福島県のスポーツの現状と課題、県民が誰もが豊かなスポーツライフを創造できる「生涯スポーツ社会の実現」に向けて、四つの施策である「生涯スポーツの推進に関する取組」「競技



◆講話 「福島県スポーツ推進計画について」 福島県文化スポーツ局 スポーツ課長 飯塚 悟様

研修会

子力発電所事故の被災体験を風化させない活動を継続する。 県大会は、開催支部の特性を踏まえ、運営の簡素化や大会宣言を工夫するなど充実を図る。 東北地区退職校長会協議会事務局として東北各県や全連退との連携を深める。

なお、会に先立ち、研修会として福島県教育センター所長様より、講話をいただいた。



理事会の様子

令和八年三月十三日(金)、福島市吾妻学習センターにおいて令和七年度理事会を開催した。報告事項、協議事項とも了承された。

令和七年度 理事会報告

スポーツに関する取組「障がい者スポーツの推進に関する取組」「パラリンピックのレガシーの推進に関する取組」などを具体的にお話いただいた。

令和八年度も「松風」を三回、「東北地区情報」を一回発行することになります。なお、本会のホームページには、「松風」のほかにも各支部の広報や様々な情報も掲載していますので、気軽に閲覧ください。

編集後記

教職員の主体性の尊重・「現場の経験」を重視した学び・「個別最適な学び」・「協働的な学び」など、研修観の転換を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に取り組んでいることをお話しいただいた。最後に、ご自身が幼少時から学び続けているバイオリンの素敵な演奏を聴かせてくれた。



◆講話 「学び続けることの楽しさ」 教育センターの取組と自分自身の歩み 福島県教育センター 所長 吉川 武彦様